

平成29年11月

## 橋本市教育委員会定例会会議録

平成29年11月29日

## 教育委員会定例会会議録

開催日時 平成29年11月29日(水) 午前9時～

開催場所 教育文化会館 4階 第7展示室

出席委員 教育長職務代行者 清田 信  
委員 田中 敬子 中尾 悦子 米田 恵一  
教育長 小林 俊治

出席職員 教育部長 曾和 信介 教育総務課長 北岡 慶久  
学校教育課長 中尾 充雄 文化スポーツ室長 大西 基夫  
中央公民館長 海堀 不二夫 教育相談センター長 椿本 雅敏  
図書館長 井澤 清 教育総務課長補佐 中田 幸

### 1 開式

### 2 前回会議録の承認について

### 3 会議録署名委員の指名について

### 4 報告事項

報告第1号 教育状況について

報告第2号 信太小学校の今後について

### 5 付議事項

なし

### 6 その他

成人式について

子どもの生活に関する実態調査のアンケートについて

会議の概要 開会 午前9時00分

教育総務課長 これより教育委員会11月の定例会を始めたいと思います。  
まず初めに、前回の会議録の承認について、中尾委員お願いします。

中尾委員 正確に記載されていることを報告します。

教育総務課長 わかりました。  
本日の会議録の署名委員は清田委員よろしくお願いします。

清田委員 はい。

教育総務課長 それでは報告事項に入らせて頂きます。報告第1号教育状況について、教育長よろしくお願いします。

教育長 それでは、最近の教育状況について報告します。  
まず、11月20日（月）から21日（火）にかけての区市町村教育委員会研修会へのご出席ありがとうございました。今年度は、コミュニティスクールについての説明や講演でした。このことにつきまして、ご意見・ご感想がありましたら後ほどよろしくお願いします。

さて、10月から11月にかけて、様々な行事が行われています。11月3日に市民総合文化祭開会セレモニーが行われ、11月5日まで開催されました。それに、先だって文化顕彰式が行われ2名の方が受賞されました。委員の皆様にはご出席ありがとうございました。11月5日に紀見北地区でのふるさと展望、西部地区での「ふれあって西部」、また、こども議会も開催されました。こども議会では、市内の公立・私立6校の中学生12名の一般質問ときのかわ支援学校の生徒の発表がありました。市長、各部長も出席して行われました。子どもたちの提言に対する市政への反映、市政への参加意識の高揚、議会が身近な存在であるという意識付けも含め、値打ちのある取り組みであると思いますので、今回の反省点を生かして、同様の時期に継続して取り組んでいきたいと考えます。

11月19日には学文路地区で文化祭が行われました。

学校行事として、11月18日・19日伊都地方総合文化祭が行われ、幼稚園・小学校・中学校の子どもたちの力作が展示されました。

文化祭の一環として11月13日には、伊都地方英語発表会、11月9日には伊都地方音楽祭が行われました。どの発表会も熱のこもった発表であったと思います。特に伊都地方音楽祭は、多数の保護者も来場し、熱気あふれる中で盛大に行われました。

また、11月26日は、「学びの日」を開催しました。多数の来場者で多いにぎわい、それぞれのブースが活気あふれていました。

また、11月17日には、紀見北中学校区で近畿中学校・和歌山県小学校の道徳教育研究大会が開催され、11月27日には高野口小学校で自主研究発表会が開催

されました。どの研究会もやらされ感のない会であったと思います。一方で教職員の超過勤務の問題もありますが、教職員が主体的・意欲的に取り組むことが、子どもたちの成長につながるものと考えています。

この後、信太小学校の今後について報告させていただきます。よろしくお願ひ申し上げ、教育状況の説明とさせていただきます。

教育総務課長           ありがとうございます。教育長から、開催された事業についての報告がありました。特にコミュニティの関係について研修が行なわれたとの事でしたが、ご意見などありましたらご発言よろしくお願ひします。

米田委員               こども議会の報告がありましたが、高校生の場合、知事と個別に話し合いをする機会があるようですが、市長と個別に話し合いをする場合は小中学生を対象にありますか。

社会教育課長           ありません。こども議会の場で、再質問した時のみです。

教育長                 橋本中央中学校の生徒が、市長と話し合いを持った事はありますが、今後教育委員会主催のカフェミーティングで児童生徒を呼ぶ方法も考えられます。

学校教育課長           はい、昨年ありました。

教育総務課長  
補佐                    社会教育課として参加しました。福祉課の地域福祉計画策定にあたって中学生の意見を聞く目的で中学3年生のクラス事にグループワークして、市長も参加して発表やご意見を頂きました。

米田委員               議場での経験も有意義ですが、他の方法もあるのではと思いました。

教育長                 カフェミーティングはこれまで2回教育委員会主催で実施しました。地域の意見を聞く事を目的としましたが、参加者が限定的になる課題もありました。

米田委員               議会形式だと、緊張して話しにくいので、お茶を飲みながらなどリラックスして話してほしいと思います。

教育総務課長           ありがとうございます。他にご質問ご意見等ございませんか

田中委員               議会に参加することも良い経験になると思います。学校単位でまとめてきた内容を、議論するやり方もありますね。

学校教育課長           18才で参政権があるので主権者教育があります。学校の授業の一環で、自分たちの住むまちについて話し合い、代表として発表する方法もあると思います。また、行政面から市政に中学生の意見を反映させる試みとして、カフェミーティングも有

効であると思います。

教育長                    コミュニティスクールについての研修ですが、共育コミュニティが10年前に元  
県教育長によって推進されてきましたが、なかなか進展してきませんでした。県と  
しては次にコミュニティスクールに舵を切り替えてきていると思われます。実は共  
育コミュニティを実践できればできる内容ばかりです。また気になる事は学校運営  
協議会の委員は応援団として外から応援するだけではなく、プレイヤーとして一緒  
に参加する事であるとの内容でした。そうなると、かなり人選が必要になると思わ  
れます。一緒に活動するためには、方向性を合わせて協力する方が望まれると思っ  
ました。

田中委員                高知県の事例を聞いて、一体となって活動する地域の力があると思いました。そ  
のような事が共育コミュニティでできてきたら、もっと地域力が上がり大人にも子  
どもにも良い影響があると思います。

米田委員                学校運営協議会の委員ですが、イエスマンばかりで構成したいという意味ではな  
いですよ。

教育長                    違います。バランスのとれた委員という意味です。ただし、当て職で委員を選出  
する事はできないと思います。意見を出して頂き、学校運営に責任感を持った方が  
必要です。

中尾委員                応援隊ではないという点では、隅田中学校区でも応援隊という名称を変えまし  
た。高校生の参加が難しいと感じています。

教育長                    橋本市内の高校については、共育コミュニティを実施している地域の高校の参加  
が増えてきました。今後参画してくる機会は増えてくると思われます。

米田委員                ジュニアリーダーの育成については、教育委員会で音頭をとっていますか。

社会教育課長            ジュニアリーダー研修、中学生ボランティア、青年リーダーのサイクルで育成し  
ています。それぞれの高校で青年リーダーをしてほしいと声かけしています。

米田委員                声かけだけでなく、実際に一緒に実施している活動はありますか。募集してい  
るだけですか。

社会教育課長            毎月1回日曜日にリーダー定例会議を実施しています。それぞれリーダーの主体  
性に任せています。

米田委員                場作りが育成係の仕事ですか。

- 教育総務課長 結果的には場作りだけのように見えますが、それぞれの取り組みで育成しています。例えば、市職員のOBなどの交流などあります。
- 田中委員 自主性を持って活動する児童だけではなく、興味がある時に参加してもらえれば増えてくると思います。参加者は多いですか。
- 社会教育課長 参加者は非常に多いです。
- 清田委員 コミュニティスクールの有田市の事例と高知県の事例を聞きました。高知県は世界に目を向けている。コミュニティスクールも共育コミュニティのどちらも大事な取り組みです。橋本市は進んだ取り組みをしている。まなびの日も参加しています方が明るく活動できている。もう少しコミュニケーションを広げて橋本市らしさを出してほしい。ちょっとした考え方でできると思っています。住民が責任感を持ってコミュニティに参加することの認識のずれがあるのは仕方がないですが、時間をかけて解消してほしい。
- 教育総務課長 まなびの日に写真撮影で参加しましたが、前に担当していた「まっせはしもと」の違いを感じました。商業的な意味合いが強くあります。「まなびの日」はじっくり親子が体験して、どこを見ても盛況で普段からしている活動が活発であると感じた。
- 米田委員 中学生の職場体験では、接客業務を体験してウェルカムの姿勢を学習してほしい。愛のあるおせっかいが必要であると思います。積極的な交わりに関わってほしい。個別対応するこどもが多いように感じます。
- 教育長 報告第2号に入らせてもらいます。信太小学校の今後について報告してもらいます。
- 教育総務課長  
補佐 お手元の資料を元にご説明させていただきます。これまでの経緯として1ページの①橋本市立小中学校適正規模・適正配置基本方針についてご説明します。橋本市立小中学校適正規模・適正配置基本方針は平成26年5月に橋本市教育委員会5月定例会において承認されました。内容については、小学校は提言より学年2～3学級編成、学校全体で12～18学級の規模が望ましい。1学級は20～25名が望ましいと記載されています。改善策として、平成27年度から全学年複式学級になる見通しの信太小学校については当該教職員や保護者、地域住民と教育委員会が共同して実態把握を行い、改善の必要性の有無を慎重に検討・協議し、必要性があるなら改善方法を検討しますと記載しています。そして当該地域の子どもたちが短い通学距離・時間で通えること、地域の文化・交流の拠点としての役割を持つことを重視して、既存の学校は存続させます。しかし今後も児童数の減少が続き、教育環境としても問題が大きすぎると判断する場合には、市内全域からの通学が可能になる小規模特認校制度の導入や統廃合を検討します。長期的には児童数、校舎の老朽

化を視野に入れ、統廃合も考えますと記載しています。

続きまして、②橋本市立信太小学校の現状についてご説明します。平成29年10月末現在、児童数は4年生2名、5年生3名、6年生7名の合計12名となっており、クラス数は4、5年生の複式学級、6年生、特別支援学級の3クラスです。しかしながら、来年度は6年生が卒業するため、クラス数も1クラスとなります。基本方針に従い、平成27年度から全学年複式学級になることから小規模特認校制度を検討しましたが、地域との調整ができず実施に至りませんでした。平成28年度に、未就学児を持つ保護者を対象にアンケート調査、保護者会を3回、保護者の個別面談、区長との協議を実施して実地把握、情報収集を行ない、一定の方向を示すことになりました。

平成29年6月に教育委員会内部で、これまでの経過、地域住民、小学校保護者、就学前保護者の意見、財政的な見地、地域活性化も踏まえて検討した結果、廃校をせざるを得ないという結論に至り、平成30年度末をもって廃校を前提に進めて行く事を関係機関へ説明することに決定しました。

平成29年10月11日に、保護者説明会を実施、児童へは信太小学校校長先生より説明しました。10月の教育委員会議定例会でも現状について説明、11月2日に信太地区区長会で廃校について説明を行ないました。

今後の手続きについては、本日の教育委員会議11月定例会で正式に報告し、12月12日に文教厚生委員会で説明します。また、教育委員会3月定例会で「橋本市公立学校通学区域に関する規則の一部改正について」付議し、橋本市議会で「橋本市立小学校及び中学校設置条例の一部改正について」を付議、平成31年3月末をもって信太小学校の廃校を予定しています。

以上、説明を終わります。

教育長 報告が終わりました。ご質問、ご意見等ありましたら、よろしくお願ひします。

田中委員 信太小学校の児童が転入するときの制服、体操服の取り扱いはどうなりますか。

教育総務課長  
補佐 現在閉校に向けて、転入する予定児童については、制服、体操服の支出について検討しています。

教育総務課長 それぞれ家庭の事情で転入するわけではないので、保護者の負担なく対応したいと思ひます。

中尾委員 今後も信太小学校の区域は全て高野口小学校へ行くことになりませんか。

教育長 家庭の事情があり別の小学校に通学する場合もあります。

田中委員 最終的に高野口中学校に通学すると思ひますが、交流会はありますか。

学校教育課長 これを見通した形で、高野口小学校と信太小学校の交流は実施しています。高野

口中学校としては、部活説明などを入学前に実施しています。

米田委員 転入により、孤立することのないようにしてほしいです。

学校教育課長 様々な心配が考えられますので、交流して事前に友達になってもらえるような取り組みをしています。

田中委員 信太小学校の運動会に参加しましたが、地域との交流が活発であると感じました。廃校後のコミュニティはどう考えていますか。

教育総務課長 廃校に向けた手続きの中で、地域の卒業生で廃校のイベントをどうするか考えていると聞いています。最も大事なものは、小学校の地域での位置づけは文化を継承するうえでも非常に大きい場所です。小学校がなくなってもいかに地域を継続していくか、学校だけではなく教育委員会全体で検討が必要になってくると思います。

教育長 災害と同様に、地域のコミュニティは共助の部分で地域づくりをする事が本来の強い地域づくりです。地域でいる人たちが自分たちで考える事が大事で、市が何をしてくれるという考えでは根付いていかないと思います。

田中委員 西部地区でも、中学校が橋本中央中学校に統合されました。清掃や様々なイベントをしていますので繋がっていますが、中学校がないと地域の意識も違いますし環境が変わるかと思います。信太小学校でも子どもたちが活動できるようになればいいなと思います。

米田委員 こども園制度ができてから、こうなったのではないですか。市内で他のこども園計画はありますか。

教育長 学童保育について言いますと、恋野小学校に学童保育がありません。こども園については、幼稚園、保育園と距離的には大きな違いはありません。恋野小学校は児童数をキープできています。統廃合については、今後の予定はないのではないかと考えています。気になるのは紀見北中学校と紀見東中学校の統廃合ですが、当面は考えていません。協議会は設置していませんが、生徒数をどうやって増やすかを協議していきたいと思います。

清田委員 三石台は新築住宅を建築しています。マンションなども転出入は継続していくと思います。外部に入学する人はどうなるか未定ですが。

米田委員 私立中学校などに行く方が多いですか。

学校教育課長 公立中学校以外に進学する児童数は、三石小学校が多いです。



教育長 市内全域で18%程度でしたが三石小学校は34%程度と記憶しています。公立中学校へ進学する児童を増やす事が課題です。保護者の考え方ですね。

清田委員 最初から外に目が向いている場合が多いのでは。高齢者が増えることが課題になってくると思います。

米田委員 公立中学校の魅力を上げる取り組みが必要です。

学校教育課長 毎年議論していますが、難しいです。

清田委員 教育委員会でする事は限界があります。入居者が増えても、橋本市に根付く人が来てくれるかは疑問があります。手作りの三石だんじり等を企画運営していますが、個々の要望は様々で、グループ作りをいやがる人もいます。

米田委員 進学時の選択は保護者か児童かどちらが主導しているのでしょうか。

清田委員 保護者の意見が多いのではないのでしょうか。

中尾委員 そのように持って行っているようです。

米田委員 個々の保護者に紀見北中学校の良い所をアピールしてはどうですか。

教育長 中学校の問題ではなく、高校進学が目的です。高校と連結している学校を希望しています。高校の魅力を語ると私立に流れる傾向にあります。実際に個別に活動することは、逆効果になると思われれます。逆に保護者は心配します。公立中学校の良さは、様々な生徒が混じり合う事です。できる子できない子が一緒に勉強する事が良い事ですが、保護者は危険と捉えてしまいます。子どもが磨き合うことで成長する良さがわかりにくいと思います。

田中委員 例えば部活動でアピールすることも必要ではないのでしょうか。

学校教育課長 その中学校に部活がない場合は、学校の変更は可能です。強い部に行きたいはできません。

田中委員 特色を出す案として提案しました。

教育長 報告第2号他にご意見ありませんか。

田中委員 廃校する前の運動会は児童数も減るので、運営は大丈夫でしょうか。高野口小学校にも参加できるようになりませんか。

教育長 具体的な取り組みは学校で決めていきます。学校独自の企画力が必要であるので、私から提案はしません。学校で良い案が出ると思います。

米田委員 現5年生は実際に高野口小学校で週1回程度交流していますか。

学校教育課長 定期的な交流ではありません。年数回程度かと思います。

教育総務課長 学校施設管理の面では、来年度教職員だけでは無理なので、清掃活動の支援は要望されています。

教育長 運動会も地域の人がかかり考えてくれています。

教育長 よろしいですか。報告第2号については、これで終わらせていただきます。今回は付議事項がありません。その他の事項については教育総務課長で進行して下さい。

教育総務課長 はい。分かりました。それでは、その他事項について報告します。成人式について、社会教育課長からよろしくお願いいたします。

社会教育課長 成人式の日程、内容について説明

教育総務課長 続きまして、子どもの生活に関する実態調査のアンケートを実施しました。内容をご覧頂いて次回12月教育委員会議前日会までに、ご意見をまとめて頂きたいと思います。前日会の後に、教育福祉連携推進室の担当職員が直接こさせて頂きますので、直接ご意見を頂きながら、文書でも提出頂きたいと思います。

教育総務課長 アンケート内容について説明

教育総務課長 学文路中学校の件ですが、こども園の建設に伴って、1月中旬から学文路中学校の解体が決定しました。卒業生が大切に作った卒業記念のオブジェなど沢山あり、取り外しできるものは教育総務課で外しましたが、取り外しできないオブジェもありました。そこで、1月1日から7日まで学校を開放して、学校を見て頂こうと思います。12月広報に掲載しましたがすでにお問い合わせも複数あり、成人式の参加者も明日30日に学校に行く予定です。

他にありませんか。

米田委員 応其中学校の跡地に高野口地区公民館の話はありませんか。

教育総務課長 学文路中学校の跡地に学文路地区公民館を建設する事については、これまでの公民館を無くして建設することになります。現状では、新たに公民館を建設する話はありません。

米田委員 住民あたりの公民館について調査してもらえませんか。

中央公民館長 現在の状況については、人口で算出しています。

教育部長 住民一人あたりの公民館の平米数はあまり差異はなかったと思います。

教育長 次の対象となる公民館は紀見地区公民館の予定です。

米田委員 それでは、稼働率という点で夜間の公民館活動の貸出延長についてはどうですか。

教育部長 経費などを勘案して営業時間を決定しています。活発に活動して頂いていることは感謝しています。

米田委員 時差出勤は可能ですか。

教育部長 可能であるとは思いますが。現場の業務を聞いて精査していきます。

中尾委員 卒業式の予定は決まっていますか。

学校教育課長 小学校が3月20日、中学校が3月9日の予定ですが、決定ではありません。

教育総務課長 それでは、長時間にわたりありがとうございました。  
次回12月の日程について確認します。前日会は12月15日（金）の9時、定例会は12月25日（月）の9時からになります。12月19日（火）に総合教育会議を開催予定です。1月の前日会及び定例会については日程が不明ですので、12月15日の前日会に調整させていただきます。

（午前11時40分）

署 名 委 員